

「四国の観光資源の認知度・体験度並びに  
四国に対するイメージアンケート」調査結果について

四国経済連合会では、四国の代表的な観光資源の認知度や体験度、また四国に対するイメージを調査することで、今後の地域づくりや情報発信のあり方を検討していく際の参考とすることをねらいに、題記アンケート調査を実施しました。その結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

[調査結果の概要]

- ・ 四国の代表的な 50 の観光資源のうち、四国外住民の認知度が 50 % 以上のものが「さぬきうどん」、「阿波おどり」をはじめ 22 ある。発足間もない「四国アイランドリーグ」も、59.0%とかなり認知度が高い。
- ・ 四国外住民の体験度が 10 % 以上の観光資源は 14 に留まっている。認知度に比べ、実際に行った(食べた)ことのある観光資源はかなり限られている。
- ・ 四国外住民の認知度と体験度の関係は、認知度が高い観光資源ほど、体験度も高くなる傾向があり、情報発信の重要性を示している。
- ・ 四国外住民の地域別比較では、近畿、中国の住民は、関東、九州の住民に比べ、認知度が高いと体験度も高くなる傾向が強い。近畿、中国地方に対し、四国の新たな観光資源などの認知度を高める取り組みが重要と思われる。
- ・ 四国外住民と四国住民の認知度には大きな差があり、特に最近できた美術館や県都以外の都市の祭り、歴史的町並みなどで顕著である。四国住民には馴染みのある観光資源をいかに全国ブランドに引き上げてゆくかが大きな課題である。
- ・ 四国住民の認知度と体験度の関係は、プロスポーツ(四国アイランドリーグ等)やアウトドアスポーツ(吉野川ラフティング等)などを中心に認知度は高いものの、実際の体験度は低いものが少なくない。四国の新しい魅力を四国住民自身が体験してゆくことも重要である。
- ・ 四国外住民の四国に対するイメージは、「豊かな自然がある」が最も強く、次いで「おいしい食べ物がたくさんある」、「独特の祭りがある」などである。
- ・ 四国外住民の四国に対するイメージを一言で言うと、「讃岐うどん」、「お遍路さん」、「豊かな自然」、「坂本龍馬」などが上位に挙げられている。

## [アンケート実施要領]

(1)調査方法：四経連が運営するホームページ「ウェルカム！四国」を通じたインターネットによるアンケート調査  
[協賛：(株)JTB中国四国 高松支店]

(2)調査期間：平成 18 年 11 月 15 日～12 月 15 日

(3)有効回答：3,653 名（うち四国外：3,333 名、四国内：320 名）

(4)回答者の属性

性別 男性 51.2%、女性 48.8%

年代別構成比（下段は H17 年の国勢調査結果）（%）

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
0.7	16.8	32.9	24.4	17.3	6.5	1.3
18.9	12.2	14.5	12.4	14.9	12.5	14.3

地域別構成比（下段は H17 年の国勢調査結果）（%）

北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄
4.2	5.6	33.6	1.9	11.0	20.7	7.2	8.8	7.0
4.4	9.4	34.8	2.4	11.8	16.4	6.1	3.1	11.6

(5)調査項目

### A．四国の観光資源の認知度、体験度

四国の代表的な観光資源 9 分野、50 資源を取り上げ、それぞれの認知度（注 1）、体験度（注 2）を尋ねた。（9 分野、50 資源は P 11～12 を参照）

### B．四国に対するイメージ

四国に対する印象(イメージ)について、選択式と自由記入の 2 通りで回答してもらった。

（注 1）「認知度」とは、その観光資源に対して「知っている」と回答した人の割合。

（注 2）「体験度」とは、その観光資源について「実際に行った（四国で食べた）ことがある」と回答した人の割合。

[調査結果]

A 四国の観光資源の認知度・体験度

1. 観光資源の認知度

四国の観光資源に対する四国外住民の認知度は、「讃岐うどん」、「阿波おどり」、「四万十川」などが100%に近い。これらを含め、22の資源が50%以上の高い認知度となっている。発足して間もない「四国アイランドリーグ」も、59.0%（17位）と比較的上位にランクされている。

認知度50%以上の観光資源 ( % )

順位	観光資源	四国外住民の認知度	(参考) 四国住民の認知度
1	讃岐うどん	99.2	100
2	阿波おどり	99.1	100
3	四万十川	97.9	99.7
4	鳴門の渦潮	96.9	99.7
5	四国八十八カ所霊場巡り	95.9	99.7
6	高知の「かつおのたたき」	94.7	100
7	高知のよさこい祭り	92.9	100
8	松山城	90.7	98.7
9	金刀比羅宮	88.1	100
10	道後温泉本館	86.2	100
11	桂浜の坂本龍馬像	84.6	99.1
12	高知城	82.2	98.4
13	映画「UDON」の舞台は、香川県である。	72.3	93.0
14	愛媛の郷土料理「鯛めし」	64.6	83.9
15	徳島ラーメン	60.6	94.7
16	善通寺	59.0	98.4
17	四国アイランドリーグ	59.0	98.1
18	高知の郷土料理「皿鉢料理」	58.8	91.8
19	栗林公園	53.5	98.4
20	祖谷溪谷	52.6	98.1
21	NHK大河ドラマ「功名が辻」は、初代土佐(高知)藩主夫婦の物語である。	52.2	75.4
22	高知のホエールウォッチング	50.7	89.7

## 2. 観光資源の体験度

四国の観光資源についての四国外住民の体験度は、「讃岐うどん」、「鳴門の渦潮」が40%を超え、「金刀比羅宮」、「道後温泉本館」、「栗林公園」、「桂浜の坂本龍馬像」が30%台となっている。ただ、体験度が10%以上のものは、14の資源に留まっており、認知度に比べ実際に行った(食べた)ことのある観光資源はかなり限られている。

### 体験度5%以上の観光資源

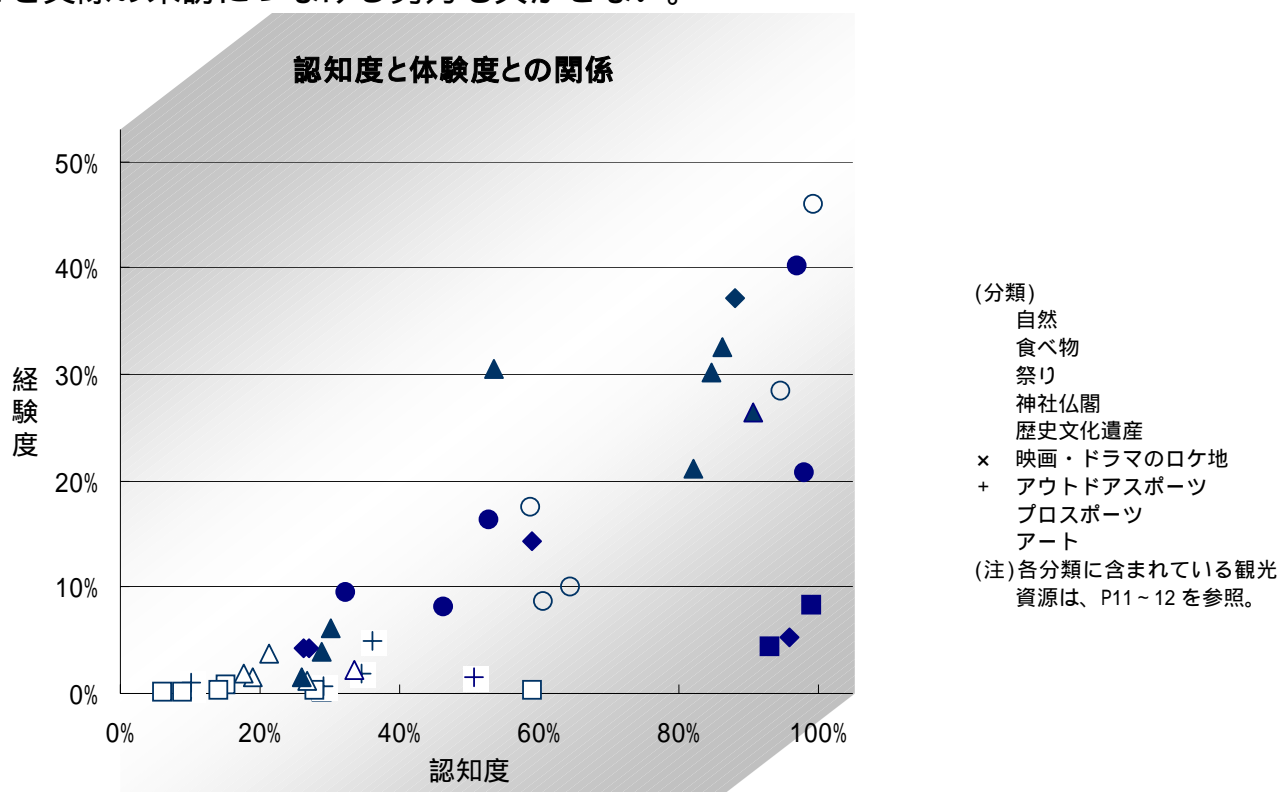
(%)

順位	観光資源	四国外住民 の体験度	(参考) 四国住民 の体験度
1	讃岐うどん	46.0	95.6
2	鳴門の渦潮	40.2	86.3
3	金刀比羅宮	37.2	90.9
4	道後温泉本館	32.5	77.8
5	栗林公園	30.5	85.0
6	桂浜の坂本龍馬像	30.1	88.3
7	高知の「かつおのたたき」	28.5	85.2
8	松山城	26.4	76.1
9	高知城	21.1	74.1
10	四万十川	20.8	62.2
11	高知の郷土料理「皿鉢料理」	17.6	61.5
12	祖谷溪谷	16.4	77.4
13	善通寺	14.3	69.4
14	愛媛の郷土料理「鯛めし」	10.0	51.7
15	瀬戸内海の多島美	9.5	34.5
16	徳島ラーメン	8.8	50.5
17	阿波おどり	8.3	46.4
18	石鎚山	8.1	66.5
19	内子の町並み	6.2	47.5
20	四国八十八カ所霊場巡り	5.2	38.4
21	四国の海釣り	5.0	44.3

### 3. 認知度と体験度の関係

四国の観光資源は、認知度が高いほど体験度も高くなっており、四国外住民の認知度50%超で体験度はほぼ10%を超え、概ね認知度80%超になると体験度は20%を超えている。観光資源を交流人口拡大につなげるには、情報発信が重要であることを示している。

なお、認知度と体験度のギャップが大きい(知っているが、体験したことがない)のは、「阿波おどり」、「四国八十八カ所霊場巡り」、「よさこい祭り」などとなっている。このうち『祭り』は、開催期間が夏場の数日間に限られるため、やむを得ない面もあるが、今後はそれぞれの観光資源について認知度の高さを実際の来訪につなげる努力も欠かせない。

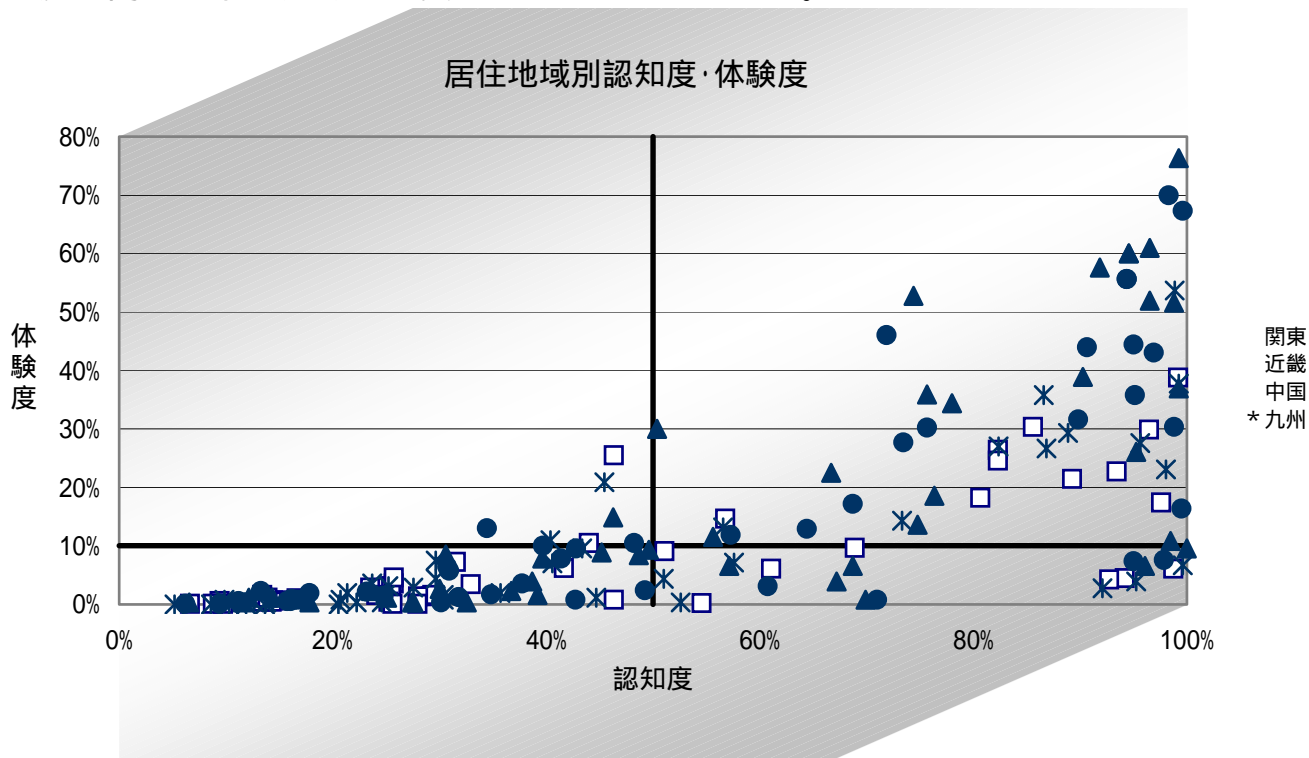


(参考)四国外住民の認知度と体験度とのギャップが大きい観光資源 ( % )

順位	観光資源	割合(%)		ギャップ (B) (A)
		認知度(A)	体験度(B)	
1	阿波おどり	99.1	8.3	90.8
2	四国八十八カ所霊場巡り	95.9	5.2	90.6
3	高知のよさこい祭り	92.9	4.5	88.4
4	四万十川	97.9	20.8	77.1
5	高知の「かつおのたたき」	94.7	28.5	66.2
6	松山城	90.7	26.4	64.3
7	高知城	82.2	21.1	61.0
8	四国アイランドリーグ	59.0	0.4	58.6
9	鳴門の渦潮	96.9	40.2	56.7
10	愛媛の郷土料理「鯛めし」	64.6	10.0	54.5

#### 4. 四国外住民の地域別比較

近畿、中国の住民は関東、九州の住民に比べ、個々の観光資源について認知度、体験度ともに上回っており、特に体験度では、近畿、中国が関東、九州より2～3倍高い。また、近畿、中国では、認知度が高いと体験度も高くなる傾向が他地域より強い。近畿、中国地方に対し、四国の新たな観光資源などの認知度を高める取り組みが重要ではないかと思われる。



居住地地域別体験度 ( % )

	四国外計	回答者の居住地			
		関東	近畿	中国	九州
讃岐うどん	46.0	38.7	67.3	76.3	37.8
鳴門の渦潮	40.2	29.9	70.0	51.6	27.6
金刀比羅宮	37.2	30.4	55.6	60.1	26.7
道後温泉本館	32.5	26.4	44.4	61.0	35.8
栗林公園	30.5	25.5	46.1	52.8	20.9
桂浜の坂本龍馬像	30.1	24.6	44.0	57.6	27.1
高知の「かつおのたたき」	28.5	22.8	43.0	53.6	26.1
松山城	26.4	21.5	35.8	51.9	29.4
高知城	21.1	18.2	31.7	38.9	14.3
四万十川	20.8	17.4	30.3	36.9	23.0
高知の郷土料理「皿鉢料理」	17.6	14.6	27.8	35.9	9.6
祖谷渓谷(祖谷のかずら橋)	16.4	10.5	30.2	34.4	11.0
善通寺	14.3	9.2	25.2	30.1	13.1
愛媛の郷土料理「鯛めし」	10.0	9.7	12.9	22.5	7.2

## 5 . 四国外住民・四国住民の認知度の関係

四国外住民と四国住民の認知度には総じて大きな差がある。特にギャップが大きい資源は、「タオル美術館 A S A K U R A 」、「新居浜太鼓祭り」、「内子の町並み」など、比較的最近できた美術館や県都以外の都市での祭り、歴史的町並みである。

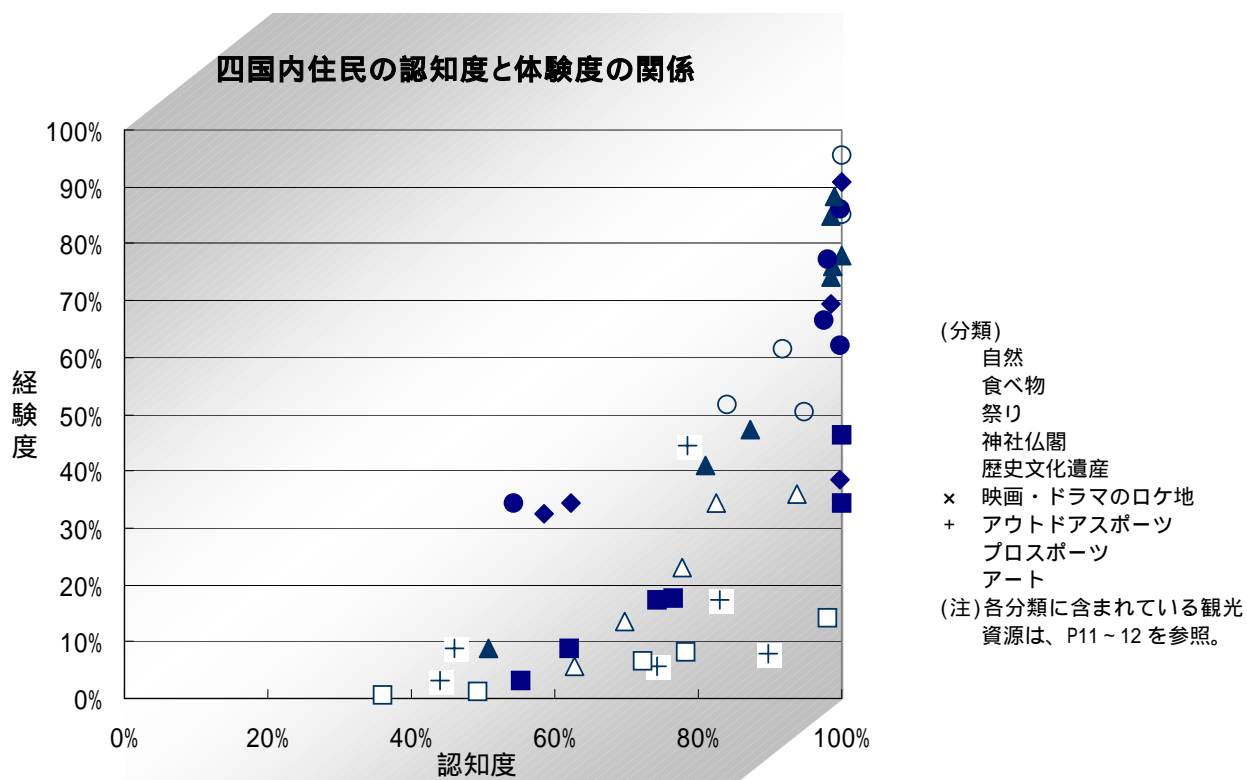
これらは概ね四国内では80%以上知られており、こうした四国住民に馴染みのある観光資源を、いかに四国外の人にPRし全国ブランドに引き上げてゆくかも大きな課題である。

四国外・四国住民の認知度のギャップが大きい観光資源 ( % )

順位	観光資源	認知度(%)		認知度 ギャップ	
		四国外 (A)	四国内 (B)	(A)	(B)
1	タオル美術館 A S A K U R A	17.7	82.6	64.9	
2	新居浜太鼓祭り	15.0	76.6	61.6	
3	アンパンマンミュージアム	33.5	93.7	60.2	
4	西条祭り	15.0	74.4	59.4	
5	内子の町並み	30.2	87.3	57.0	
6	大塚国際美術館	21.3	77.7	56.3	
7	映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ地は四国である。	33.0	85.5	52.6	
8	脇町うだつの町並み	29.0	81.0	52.0	
9	石鎚山	46.2	97.5	51.2	
10	現代アートの島 直島	19.1	69.7	50.6	
11	愛媛FC	28.9	78.2	49.3	
12	しまなみ海道のサイクリング	34.6	82.9	48.3	
13	豊浜ちょうさ祭り	14.9	62.1	47.2	
14	祖谷渓谷	52.6	98.1	45.5	
15	吉野川のラフティング	29.0	74.4	45.3	
16	映画「バルトの楽園」の舞台は、徳島県である。	17.6	62.6	44.9	
17	栗林公園	53.5	98.4	44.9	
18	徳島ヴォルティス	27.8	72.2	44.5	
19	四国の海釣り	36.1	78.6	42.5	
20	ドロメ祭り	14.1	55.2	41.1	

## 6. 四国住民の認知度と体験度の関係

四国住民の認知度と体験度を比較すると、自然や神社仏閣、歴史文化遺産などで認知度・体験度ともに高くなっている。一方で、「四国アイランドリーグ」、「高知のホエールウォッチング」、「吉野川のラフティング」など、プロスポーツ、アウトドアスポーツでは認知度は高いものの、体験度がかなり低くなる。四国の住民が、こうした四国の新しい魅力を自ら体験してゆくことも重要と思われる。



四国住民の認知度と体験度のギャップが大きい観光資源 ( % )

順位	観光資源	割合(%)		ギャップ (A) (B)
		体験度 (A)	認知度 (B)	
1	四国アイランドリーグ	14.1	98.1	84.0
2	高知の ホエールウォッチング	7.8	89.7	81.8
3	愛媛FC	8.2	78.2	69.9
4	吉野川のラフティング	5.7	74.4	68.7
5	徳島ヴォルティス	6.6	72.2	65.6
6	よさこい祭り	34.5	100	65.5
7	しまなみ海道の サイクリング	17.4	82.9	65.5
8	四国八十八カ所霊場巡り	38.4	99.7	61.3
9	新居浜太鼓祭り	17.7	76.6	58.9
10	アンパンマンミュージアム	36.0	93.7	57.7



## B 四国外住民から見た四国のイメージ

### 1. 四国外住民の四国に対するイメージ

四国外住民が四国に対して「強くそう思う」というイメージが最も多いのは、「四国には海・山・川の豊かな『自然』がある」の66.0%であった。次いで、「四国には、おいしい『食べ物』がたくさんある」46.3%、「四国には、独特の『祭り』がある」40.4%であった。

全体的にみると四国に対するイメージについては、四国外住民と四国住民の間でほぼ同様の傾向がみられた。

四国に対する印象(イメージ)で「強くそう思う」と回答した人の割合 (%)

順位	四国の印象(イメージ)	四国外住民	四国住民
1	四国には、海・山・川の豊かな『自然』がある。	66.0	79.5
2	四国には、おいしい『食べ物』がたくさんある。	46.3	47.9
3	四国には、独特の『祭り』がある。	40.4	47.3
4	四国は、心の安らぎが感じられる『癒しの国』である。	27.0	46.8
5	四国には、『歴史的文化遺産』が豊富にある。	20.5	20.3
6	四国は、国内でも有数の『映画・テレビドラマのロケ地』である。	11.9	13.4
7	四国は、様々な『アウトドアスポーツ』が楽しめる。	8.9	18.6
8	四国では、『プロスポーツ』への取り組みが盛んである。	7.0	7.7
9	四国では、特色のある『アート』に触れることができる。	4.1	7.0

(注) 上記設問の回答選択肢は、「強くそう思う」、「ややそう思う」、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」の4択

## 2. 四国外住民の四国に対するイメージの自由回答

四国に対するイメージを、一言で自由に記入してもらったところ、「讃岐うどん」、「お遍路さん」、「豊かな自然」の順となった。全体的に「島」、「海」、「田舎」、「のどか」など自然をイメージさせる項目が上位に挙がっている。

また、「讃岐うどん」のほか「坂本龍馬」、「四万十川」といった個別の資源を四国のイメージとして捉えている人も少なくない。

四国に対するイメージの自由回答上位10 ( % )

順位	一言で言うと	件数
1	讃岐うどん (「うどん」、「さぬきうどん」などを含む)	291
2	お遍路さん (「巡礼」、「四国八十八カ所霊場巡り」などを含む)	252
3	豊かな自然 (「自然が豊か」、「自然がいっぱい」などを含む)	189
4	坂本龍馬	59
5	島	48
6	四万十川	47
7	海	36
8	田舎	36
9	みかん	23
10	のどか	19

### ユニークな回答

「多彩」「歴史と自然が寄り添う町」「心のふるさと」「人情味豊か」  
 「美味しい国」「美しい島」「神秘的」「野球王国」「ほんわかのにびり」  
 「やすらぎのアイランド」「楽しさてんこもり」「古き良き日本」

### マイナスイメージの回答

「離島」「地味」「台風の通り道」「水不足」「近くて遠い」

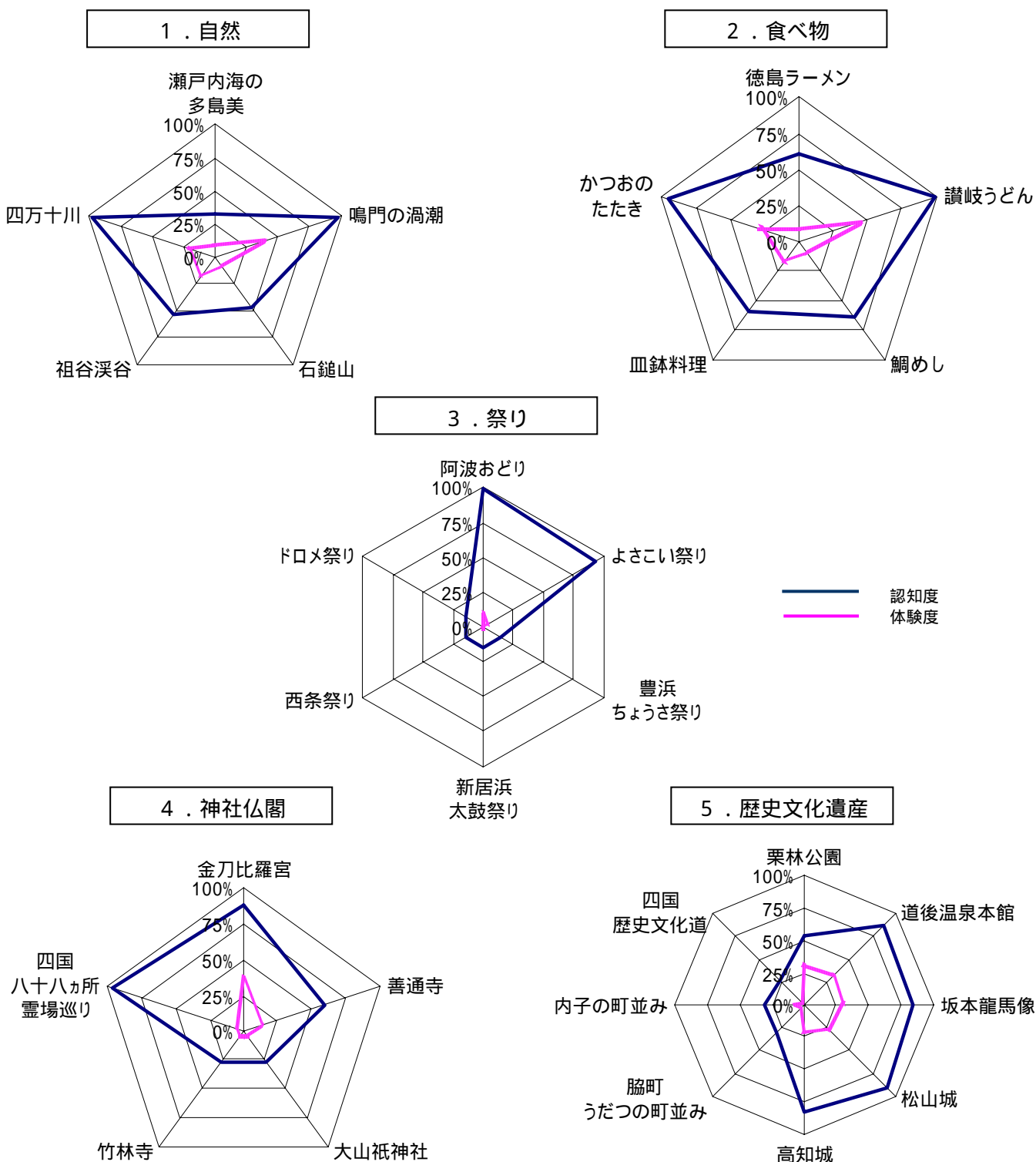
以上

## 【参考1】分野別に見た四国の観光資源の認知度・体験度（四国外住民）

観光資源を9つの分野毎に特徴をみると、『自然』は「四万十川」、「鳴門の渦潮」、「食べ物」は「讃岐うどん」、「高知のかつおのたたき」を中心に認知度の高い資源が揃っている。

一方、『祭り』は「阿波おどり」、「高知のよさこい祭り」という二大全国ブランドはあるものの、県都以外の都市の祭りは認知度が低い。

『神社仏閣』、『歴史文化遺産』は、「金刀比羅宮」、「道後温泉本館」など従来の主要観光地の認知度・体験度が高い。

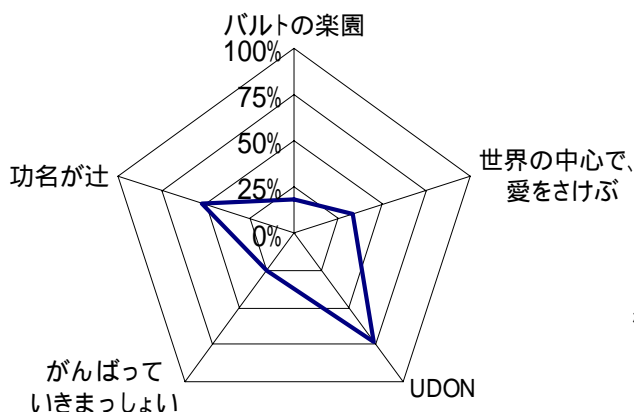


『映画・ドラマのロケ地』(認知度のみの設問)は、「映画UDONの舞台は、香川県である」、「NHK大河ドラマ功名が辻は、初代土佐(高知)藩主夫婦の物語である」が比較的高い認知度となっている。

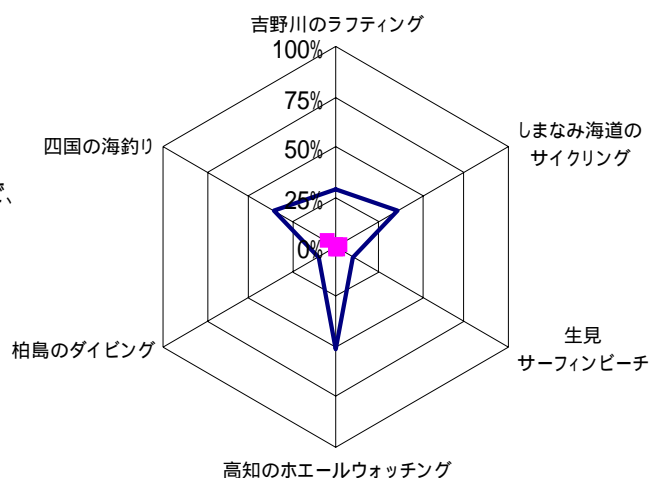
『アウトドアスポーツ』、『プロスポーツ』、『アート』は、「四国アイランドリーグ」、「高知のホエールウォッチング」など一部に認知度の高いものもあるが、概して認知度・体験度ともに低い。

6. 映画・ドラマのロケ地

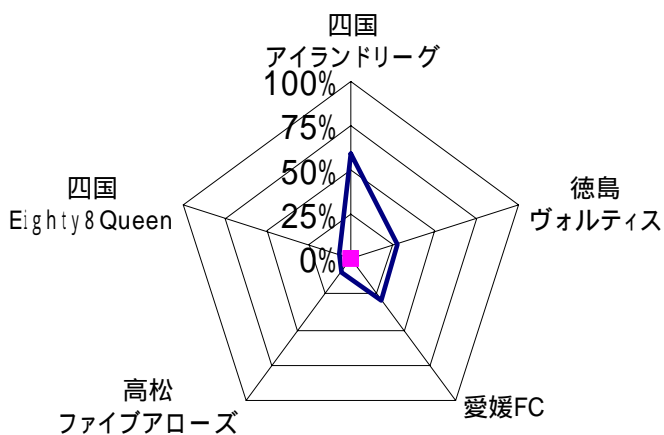
認知度のみの質問



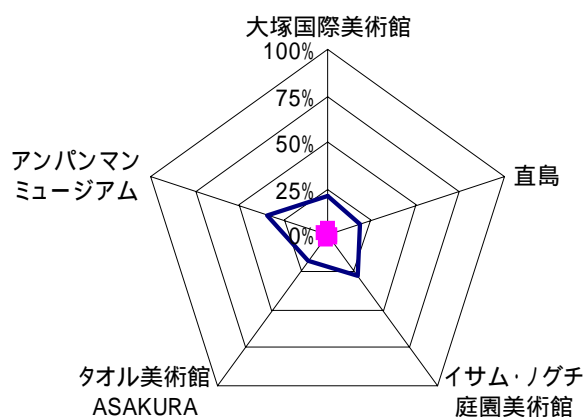
7. アウトドアスポーツ



8. プロスポーツ



9. アート



— 認知度  
— 体験度

(参考2) 四国外住民の認知度・体験度一覧

	観光資源	認知度(%)	体験度(%)
1	讃岐うどん	99.2	46.0
2	阿波おどり	99.1	8.3
3	四万十川	97.9	20.8
4	鳴門の渦潮	96.9	40.2
5	四国八十八カ所霊場巡り	95.9	5.2
6	高知の「かつおのたたき」	94.7	28.5
7	よさこい祭り	92.9	4.5
8	松山城	90.7	26.4
9	金刀比羅宮	88.1	37.2
10	道後温泉本館	86.2	32.5
11	坂本龍馬像	84.6	30.1
12	高知城	82.2	21.1
13	映画「UDON」の舞台は、香川県である	72.3	
14	愛媛の郷土料理「鯛めし」	64.6	10.0
15	徳島ラーメン	60.6	8.8
16	善通寺	59.0	14.3
17	四国アイランドリーグ	59.0	0.4
18	高知の郷土料理「皿鉢料理」	58.8	17.6
19	栗林公園	53.5	30.5
20	祖谷渓谷	52.6	16.4
21	映画「功名が辻」は、初代土佐(高知)藩主夫婦の物語である	52.2	
22	高知のホエールウォッチング	50.7	1.6
23	石鎚山	46.2	8.1
24	四国の海釣り	36.1	5.0
25	しまなみ海道のサイクリング	34.6	1.9
26	アンパンマンミュージアム	33.5	2.3
27	映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ地は、四国である	33.0	
28	瀬戸内海の多島美	32.3	9.5
29	内子の町並み	30.2	6.2
30	吉野川のラフティング	29.0	0.6
31	脇町うだつの町並み	29.0	3.9
32	愛媛FC	28.9	0.2
33	徳島ヴォルティス	27.8	0.4
34	大山祇神社	27.0	4.3
35	イサム・ノグチ庭園美術館	26.7	1.2
36	竹林寺	26.2	4.3
37	四国歴史文化道	26.1	1.6
38	映画・ドラマ「がんばっていきまっしょい」の舞台は、愛媛県である	24.5	
39	大塚国際美術館	21.3	3.8
40	現代アートの島 直島	19.1	1.6
41	タオル美術館 ASAKURA	17.7	1.8
42	映画「バルトの楽園」の舞台は、徳島県である	17.6	
43	西条祭り	15.0	0.6
44	新居浜太鼓祭り	15.0	0.8
45	豊浜ちょうさ祭り	14.9	0.5
46	ドロメ祭り	14.1	0.4
47	生見サーフィンビーチ	10.1	0.9
48	柏島のダイビング	10.0	0.3
49	高松ファイブアローズ	8.9	0.1
50	四国Eighty&Queen	6.0	0.1

(参考3) 四国住民の認知度・体験度一覧

	観光資源	認知度(%)	体験度(%)
1	讃岐うどん	100.0	95.6
2	金刀比羅宮	100.0	90.9
3	高知の「かつおのたたき」	100.0	85.2
4	道後温泉本館	100.0	77.8
5	阿波おどり	100.0	46.4
6	よさこい祭り	100.0	34.5
7	鳴門の渦潮	99.7	86.3
8	四万十川	99.7	62.2
9	四国八十八カ所霊場巡り	99.7	38.4
10	坂本龍馬像	99.1	88.3
11	松山城	98.7	76.1
12	善通寺	98.4	69.4
13	栗林公園	98.4	85.0
14	高知城	98.4	74.1
15	四国アイランドリーグ	98.1	14.1
16	祖谷渓谷	98.1	77.4
17	石鎚山	97.5	66.5
18	徳島ラーメン	94.7	50.5
19	アンパンマンミュージアム	93.7	36.0
20	映画「UDON」の舞台は、香川県である	93.0	
21	高知の郷土料理「皿鉢料理」	91.8	61.5
22	高知のホエールウォッチング	89.7	7.8
23	内子の町並み	87.3	47.5
24	映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ地は、四国である	85.5	
25	愛媛の郷土料理「鯛めし」	83.9	51.7
26	しまなみ海道のサイクリング	82.9	17.4
27	タオル美術館 ASAKURA	82.6	34.5
28	脇町うだつの町並み	81.0	41.1
29	四国の海釣り	78.6	44.3
30	愛媛FC	78.2	8.2
31	大塚国際美術館	77.7	23.0
32	新居浜太鼓祭り	76.6	17.7
33	映画「功名が辻」は、初代土佐(高知)藩主夫婦の物語である	75.4	
34	西条祭り	74.4	17.4
35	吉野川のラフティング	74.4	5.7
36	徳島ヴォルティス	72.2	6.6
37	現代アートの島 直島	69.7	13.6
38	映画・ドラマ「がんばっていきまっしょい」の舞台は、愛媛県である	64.8	
39	イサム・ノグチ庭園美術館	62.7	5.7
40	映画「バルトの楽園」の舞台は、徳島県である	62.6	
41	大山祇神社	62.1	34.4
42	豊浜ちょうさ祭り	62.1	8.9
43	竹林寺	58.4	32.4
44	ドロメ祭り	55.2	3.2
45	瀬戸内海の多島美	54.2	34.5
46	四国歴史文化道	50.8	8.8
47	高松ファイブアローズ	49.2	1.3
48	生見サーフィンビーチ	46.0	8.9
49	柏島のダイビング	44.0	3.2
50	四国Eighty&Queen	36.1	0.6